

平成 24 年 6 月 19 日

財団法人 京都高度技術研究所

〔担当：産学連携事業部連携支援グループ〕
TEL 075-315-6736

食の安全・安心フォーラム

「食生活の安心に向けて 一食の安全はどのように守られているのか」の開催について

この度、財団法人京都高度技術研究所では、公益財団法人科学技術交流財団（愛知県豊田市）と共に、「食の安全・安心フォーラム『食生活の安心に向けて 一食の安全はどのように守られているのか』」を開催いたします。

「食の安全・安心」は、私たち生活者にとって最も重要な関心事の一つです。昨年発生した福島原発事故による食品の放射能汚染や腸管出血性大腸菌（O111）による生肉の汚染、農薬・アフラトキシン（猛毒のカビ毒）に汚染した米の流通など、過去を紐解けば不安材料の枚挙にいとまがありません。しかし、食品の検査や研究機関では、総力で食の安全性を高める努力を続けています。

本フォーラムでは、「食の安全・安心」の実際を、当日、ご参加くださった皆さんに知っていただくために、独立行政法人科学技術振興機構 地域産学官共同研究拠点整備事業（※）により整備された京都地域と愛知県の拠点研究施設を通して活躍する気鋭の研究者が、わかりやすく講演します。本フォーラムを通して、食生活の安全がどのように確保されているのか、理解が進むことを期待しています。

■日 時 平成24年8月1日（水）13:00-17:00

■会 場 京都リサーチパーク サイエンスホール
(京都市下京区中堂寺南町 134 番地)

■内 容 講演内容は裏面のとおり

■定 員 150名

■参加費 無料

■主 催 (財)京都高度技術研究所、(公財)科学技術交流財団

■共 催 京都リサーチパーク(株)

■後 援(予定) (独)科学技術振興機構、京都市、京都府、京都バイオ産業技術フォーラム

■申込方法 Web (<http://www.astem.or.jp/kist-bic/>) 申込みフォームからお申込みください。

■申込締切 平成24年7月25日（水）※定員になり次第締め切らせていただきます。

■問合せ先 (財)京都高度技術研究所 産学連携事業部 連携支援グループ（遠藤、内海）

TEL : 075-315-6736 E-mail : biocity@astem.or.jp

■□ 講演内容 □■

- 13:10-13:40 基調講演
「生活者（消費者）の食の安全安心に科学技術はどう貢献できるか」
科学技術交流財団 知の拠点重点研究プロジェクト統括部 主幹研究員
(東海コープ事業連合 商品安全検査センター 技術顧問) 斎藤 勲 氏
- 13:40-14:10 講演
「食品分析は工夫しだいでこんなに違う」
中部大学 応用生物学部 教授 山本 敦 氏
- 14:10-14:40 講演
「抗体を使った検査技術が食品分析を変える」
(財)京都高度技術研究所 京都バイオ計測センター 主幹研究員 三宅 司郎 氏
- 14:40-15:10 講演
「ここまで来た食中毒原因菌のモニタリング技術」
名城大学 農学部 教授 田村 廣人 氏
- ***休憩***
- 15:25-15:55 講演
「福島原発事故による放射能汚染の影響」
京都市衛生環境研究所 生活衛生部門 担当課長 伴埜 行則 氏
- 15:55-16:25 講演
「食の安心・安全 ～生活者の目線から、どう考える?～」
京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授 大谷 貴美子 氏
- 16:25-16:55 講演
「食の安全を担う分析化学最前線」
アサヒグループホールディングス(株) 食の安全研究所 所長 望月 直樹 氏

(※) 地域産学官共同研究拠点整備事業

京都府、京都市、京都大学、京都商工会議所の共同申請により、独立行政法人科学技術振興機構(JST)の地域産学官共同研究拠点整備事業に採択され実施する事業で、JST から貸与を受けた高度研究機器を活用し、地域の特色を生かした産学官連携拠点を整備することにより、地域発のイノベーションの創出を推進し、科学技術による地域活性化を図ります。

京都地域においては、「バイオ計測プロジェクト」京都バイオ計測センターと桂イノベーションパークで推進する「先端光加工プロジェクト」が拠点となります。